

令和6年 12月25日(金)

あさひの日だまり

NO.29

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～1年間お世話になりました～

子どもたちと挑戦を楽しむ新年を迎えたいと思います

この1年間ご家族の皆様には本当にお世話になりました。今年も「挑戦」の二文字を掲げて学校経営を進めてまいりましたが、その願いがどれほど現実味を帯びて子どもたちの日常に浸透していかれたかやささか心もとない思いでおります。

「学校は楽しむところだ」と繰り返してまいりましたが、実際は何度も何度も子どもやご家族から学校で感じた悲しさをお伝えいただきました。そのたびに申し訳ない思いでいっぱいになるとともに、もっと子どもたちのために本気で取り組まなくてはいけないと思いを新たにしていまいりました。そのような場面を思い出すたびに、常に私たち教職員はご家族の皆様の温かい思いに支えられて日々子どもたちの前に立たせていただいているのだということを実感してまいりました。本当にありがとうございました。支えていただいていることに甘えることなく新年から子どもたちのために一層教育活動に邁進してまいります。保護者の皆様の変わらぬご支援どうぞよろしくお願いいたします。

終業式に子どもたちに相変わらず私事を聞いていただきました。お話の中身は以下のようなことです。目を通していただけたら幸いです。

「何とかしてトラを家に入れてあげたい」と校長先生の挑戦は続いています。

「問題はスーです」「スーさえ入っていいよと言えばトラとスーは一緒に暮らせませう」

校長先生は作戦をたてました。インターネットで「猫を仲良くする方法」を検索したらちゃんと方法が書いてありました。その内容はこんな感じです。

まず新しい猫が来たらその猫を遠くから見せる。一度に見せないで少しづつ見せてあげる。その時どちらの猫もほめてあげておいしいおやつをあげる。そうするとどちらの猫も「この猫といるといいことがある」と思ってくれる。そうするとだんだん仲良くなっていく。というわけです。

そこで校長先生はこんな作戦を実行しています。それがこの写真です。

まずは、ベランダの外にトラが来た時に窓を閉めたままスーを遠くから窓際へ行かせる作戦をとりました。

どうですか。先生は「これはうまくいきそうだな」と直感しました。2匹は鼻を近づけてガラス越しに見つめ合っていました。もしかしたら2匹の間に愛情が芽生えた瞬間かと思いました。

これはしばらく2匹が見つめ合った後の写真です。

トラはずっとスーに「仲良くしてね」と伝えていきます。ところがです。突然スーがカーテンの陰に隠れて

トラをにらんで唸り声をあげたのです。身を低くしてとびかかる姿勢で「近づくな」と激しく威嚇しています。校長先生が無駄やうとすると牙をむいて噛みついてきました。「誰が何といっ



でも絶対に許さない」と言っています。

その後校長先生は何度も何度もベランダにあらわれるトラにスーを対面させました。しかし、スーは決して許しません。しまいにはガラス越しにトラにとびかかります。この作戦はどうも失敗だったようです。

そこで新しい作戦を考えてみました。玄関にトラを入れてドア越しに2匹を出会わせる作戦です。間には木のドアがあるので相手の姿は見えません。鳴き声が聞こえるだけです。トラは「部屋へ入れて」とまん丸な目で静かに訴えたり、背伸びをしてドアのガラス窓をひっかいたりします。スーはドアの隙間から漂ってくるトラののにおいに反応してうなり声を上げています。それでもガラス越しの時よりもスーは落ち着いているように見えます。この作戦が上手くいくかどうかはまだわかりません。

外はもうマイナス何度という寒さです。校長先生は部屋にトラを入れてあげたくてたまりません。でもそれはできません。そこで校長先生は頑張りました。トラのためにこんな家を作って倉庫の中におきました。ベニアの中に発泡スチロールを入れて断熱材にしました。中には電気で温くなるヒーターを置きました。材料費は何万円もかかりました。

トラがこの家を気に入ってくれるかとても心配しましたが、トラをこの家に入れてあげると次の日からは夜ここへ来て中に入って寝てくれました。校長先生はすごく嬉しくなりました。でも、夜たまに中を見てみると中にいないときもあります。そんなときはきっとどこか他の家の軒下で寝ているに違いありません。その家の人に石を投げられたり、道路へ跳び出て車にひかれたりしないかととても心配しています。

校長先生は、たまに、猫のためになんでこんなに頑張っているんだろうと自分のことを不思議に思うことがあります。友だちにこんなことを頑張ってるって話したら笑われてしまうかもしれません。

でも、校長先生は家の中でトラとスーと一緒に暮らせる日が来ると信じているんです。私の前で2匹が仲良くじゃれ合っている姿を見られるのが楽しみでなりません。そんな日が来ることを想像してトラの家を作るのはとても楽しかったです。



猫は人よりも新しいことに慣れるのに時間がかかるのだそうです。もしかしたらこの先何年かかるかもしれません。色々考えてやってみますが何度も失敗するかもしれません。それでもいいんです。

校長先生はトラとスーが家の中で一緒に暮らせるその日を夢見て挑戦を続けます。

皆さん、今年みなさんはどんなことに挑戦しましたか。成功しても失敗しても挑戦した人には必ず楽しい思い出が残っていますね。

皆さんの来年の思い切った挑戦に期待しています。

それでは皆さんよいお年をお迎えください。ご家族にも校長先生が良いお年をお迎えくださいと言っていたよとお伝えください。

休み明けに元気なみなさんの顔に出会えることを楽しみにしています。

お話はこれで終わりです。

